

早稲田大学 大学院法学研究科
2024 年度 修士課程入学試験問題（社会人入試）
【小論文】

社会人研究課題

「 社会保障・社会福祉・成年後見の法と行政 」

以下の 6 つの設問のうち、1 つを選んで回答しなさい。

- （1） 社会保障行政における行政立法（基準設定）の意義を論じなさい。
- （2） 成年後見人（ 保佐人、補助人を含む ）が遂行すべき事務の範囲について、どのように考えるか。福祉制度との関連を意識しつつ論じなさい。
- （3） 「居住」や「住まい」に関して必要と考えられる社会保障制度上の施策について論じなさい。
- （4） 外国人に対する社会保障上の権利保障に関わる問題を 1 つ挙げて、その是非を論じなさい。
- （5） 障害のある未成年の子について、親が、親権に基づいて子を代理し、自らを任意後見人とする任意後見契約を結ぶ例がみられる。このような仕組みの必要性和問題点を論じなさい。
- （6） 「人口減少社会」の到来が社会保障に与える影響について、多角的に論じなさい。

答案の書き方（○横書 ／ 縦書 ） 六法全書の使用を（ 認める ／○認めない ）